



講座のアピールポイント

埼玉県東部地域においては、精神科を擁する総合病院は獨協医科大学埼玉医療センターのみです。当講座は、200万人を超える巨大医療圏における唯一の総合病院精神科となっております。そのため子どもから大人までさまざまな年代の患者さんがいらっしゃいます。

当科では、「薬に頼らない」、「児童・思春期も診る」といった他院にはない方針を掲げております。薬は使わないわけではありませんが、必要な範囲にとどめています。薬物療法よりも、睡眠や生活リズムをめぐる療養指導に力を入れています。

初診の約半分が10代の患者さん（不登校、引きこもり、発達障害、うつ状態、適応障害、プラダーウィリー症候群など）です。家族や学校などの関係者と協力しながら子どもたちのサポートをしています。成人の患者さんでは、休職中（うつや適応障害）も多く、家族や会社、産業医などと連携しながら、復職のための準備の仕方などをコーチングしながらサポートしています。

当科には病棟はありませんが、他科に身体疾患で入院した患者さんに精神科リエゾンチームとして病棟を回り、安心して入院治療ができるように精神的サポートも行っています。

講座研究紹介

・プラダーウィリー症候群（PWS）の心理行動症状の研究

当科には、希少疾患であるプラダーウィリー症候群（PWS）の患者さんが、子どもから大人まで約250名ほどいらっしゃっています。これは本邦では当院のみだと思います。当科では、小児科と協力して行動症状のフォローと発達の支援を行っています。同時に、各発達段階（児童期、思春期、青年期、成人期など）における行動症状の推移や、性別、遺伝子型による行動症状の差異に関して、多くの知見を見出し、研究成果を発表しています。またプラダーウィリー症候群の心拍変動について他の大学と共同研究しています。

・思春期の自傷行為の研究

当科には多くの思春期の患者さんがいらっしゃいます。その中で自傷行為をしてしまう患者さんもいらっしゃいます。当講座では、そのような患者さんにはどのような特徴があり、どう支援していくことが望ましいかを研究しています。

・救命救急センターに搬送された10代自殺企図患者の研究

当院救命救急センターに自殺企図で搬送された10代の患者さんを退院後に当科で長期的にフォローしています。その中で、当講座では、患者さんの背景事情や発達的特徴や支援の仕方を研究しています。

・腎移植ドナー・レシピエントの術前後の精神的評価の研究

当院移植センターにて、多くの腎移植を行っています。当科では、腎移植ドナーやレシピエントの手術前や手術後の精神的サポートを継続的に行っています。当講座では、長期的にフォローすることで、精神的にどう変化するかを研究しています。

以下は当講座の研究の一部です。

- ・ Autism spectrum disorders and hyperactive/impulsive behaviors in Japanese patients with Prader-Willi syndrome: a comparison between maternal uniparental disomy and deletion cases. *Am J Med Genet A*. 2014, 164A, 2180-6

（概要：PWSにはmUPD型とDEL型があり、児童期はmUPD型とDEL型で自閉傾向に差はないが、思春期になるとmUPD型は自閉傾向が強まる。）

- ・ Aberrant, autistic, and food-related behaviors in adults with Prader-Willi syndrome. The comparison between young adults and adults. *Research in Developmental Disabilities*, 2018. 73, 126-134

（概要：20代PWSより、30代PWSのほうが自閉傾向、異常行動が少ないことがわかった。研究成果を外来で介護者である家族に先の見通しとして伝えることが可能となった。）

- ・ Relationships between sensory processing and autistic-like behaviors in adults with Prader-Willi syndrome. *American Journal on Intellectual and Developmental Disabilities*. 2022. 127-3, 249-263

（概要：成人PWSを対象に感覚異常を調べ、感覚異常があるほど自閉傾向、異常行動が多いことがわかった。）

- ・ 自殺企図歴の有無で分類した自閉スペクトラム症患者の心理検査結果について. 2022, 第35回日本総合病院精神医学会総会, ポスター発表

（概要：救命センターに搬送された10代自殺企図の自閉スペクトラム症患者群と外来での10代自閉スペクトラム症患者群のIQ、自閉傾向などを比較したが、違いはなかった。）

- ・ 救命救急センター搬送後、精神科外来フォローした自殺未遂者の10代発達障害群の臨床的特徴. 2022, 第35回日本総合病院精神医学会総会, ポスター発表

（概要：自殺企図した10代発達障害群を自殺企図した20代以降の発達障害群と比較した。自殺企図した10代発達障害群では企図手段として飛び降りが多く、自殺企図した20代以降の発達障害群は過量服薬が多かった。）

- ・ 侵襲的手段をとる10代自殺企図者には、自閉スペクトラム症者が多い. 2023, 第119回精神神経学会総会, 口頭発表

（概要：侵襲的な自殺企図手段をとるのは自閉スペクトラム症者が多かった。）